

浜松市舗装施工記録様式
作成マニュアル
【 施 工 業 者 用 】

～Ver.1.1～

平成 31 年 4 月

浜松市土木部

目次

1. 様式の作成・提出の流れ	1
2. 様式の入手方法	1
3. 様式の作成	2
3.1. 施工記録様式（浜松市発注用）の作成	2
3.2. 様式のファイル名の決定（命名規則）	6
4. 様式の提出	6
付録	7
付録-1 道路の分類の確認方法	7
付録-2 箇所図の取得方法（施工業者・申請者向け）	7
付録-3 緯度・経度等の取得方法	10
付録-2 様式サンプル	11

※このマニュアルは、以下の浜松市職員用マニュアルに対応しています。

「浜松市舗装点検・施工記録様式 作成・保存マニュアル 【浜松市職員用】～Ver.1.3～」

1. 様式の作成・提出の流れ

本マニュアルに基づき、「【様式-5】施工記録様式（浜松市発注用）」を作成してください。
作成後、様式の **Excelファイル** を監督員に提出してください。



2. 様式の入手方法

ここでは、様式の入手方法を説明します。**様式は常に最新版を使用してください。**

手順	操作内容
①	浜松市ホームページにアクセスし、「くらし・手続き」⇒「道路・交通・河川」⇒「道路管理」⇒「道路施設の長寿命化」の順にクリック
②	表示されたページに掲載されている様式をダウンロードする (併せて記入例も掲載しておりますので、参考にしてください。)

3. 様式の作成

3.1. 施工記録様式（浜松市発注用）の作成

ここでは、施工記録様式（浜松市発注用）の作成方法を説明します。様式は常に最新版を使用してください。

作成対象：舗装の建設・補修・修繕の工事を実施した場合で、契約書に「舗装施工記録様式に関する特記仕様書」が含まれている場合は、施工記録様式（浜松市発注用）を作成してください。

舗装施工記録様式に関する特記仕様書	
1	本工事の完成図書の一つとして、舗装施工記録様式（浜松市発注用）を作成すること。
2	舗装施工記録様式は、浜松市ホームページに掲載されている最新版を使用すること。 【URL】 https://www.city.hamamatsu.shizuoka.jp/dourohozen/20160822ijisyuuzenn.html
3	舗装施工記録様式の作成方法は、浜松市ホームページに掲載されている「浜松市舗装点検・施工記録様式 作成・保存マニュアル」を参照すること。 【URL】 https://www.city.hamamatsu.shizuoka.jp/dourohozen/20160822ijisyuuzenn.html
4	作成した舗装施工記録様式の Excel ファイルを監督員に提出すること。

浜 松 市

STEP1：路線情報を入力する

舗装カード（浜松市発注用）						様式-5（施工記録様式A） Ver.1.4	
発注所属部課名			土木部	道路保全課			
路線情報							
道路の分類	B	道路種別	国道	路線名	152号		
区名	中区	町字名	板屋町	全車線数	7		
地下埋設物	<input checked="" type="checkbox"/> 電気	<input type="checkbox"/> ガス	<input type="checkbox"/> 上水道	<input type="checkbox"/> 下水道	<input type="checkbox"/> NTT	<input type="checkbox"/> 工業用水	<input type="checkbox"/> その他（ ）

項目	入力方法
発注所属部課名	発注所属部課名を記入
道路の分類	プルダウンメニューから選択（浜松市職員が記入します。）
道路種別	プルダウンメニューから選択
路線名	路線名のみを記入（道路種別は記入しないでください。数字は半角で記入してください。） 【正】152号、水窪森線 【誤】(国)152号、県道水窪森線
区名	プルダウンメニューから選択 (区名を選択すると、自動的に位置図が切り替わります。)
町字名	「町字名」を記入
全車線数	施工箇所の「全車線数」を半角数字で記入
地下埋設物	地下埋設物がある場合に選択

※「道路の分類」の確認方法は、付録-1を参照。

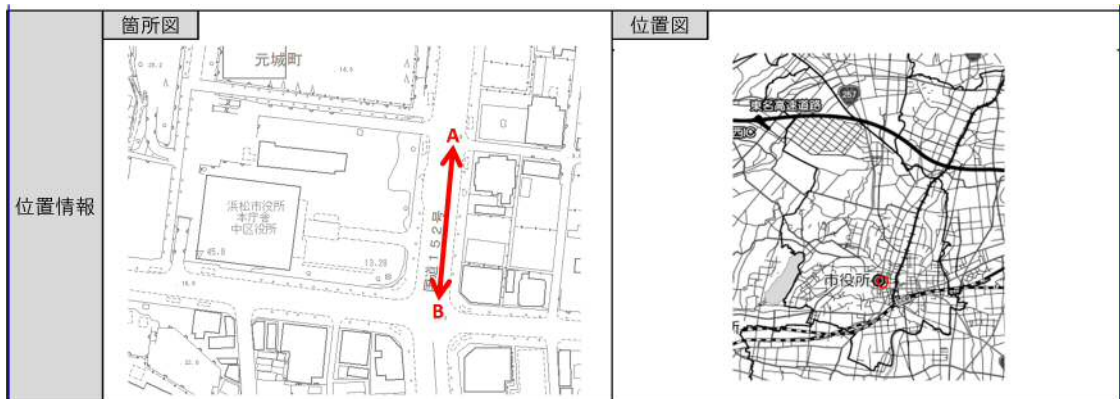
STEP2：工事理由・点検結果情報を入力する

工事理由・点検結果情報						
工事理由	<input checked="" type="checkbox"/> 定期点検	<input type="checkbox"/> 特定点検 (<input type="checkbox"/> 道路パトロール	<input type="checkbox"/> 住民通報	<input type="checkbox"/> 自治会要望	<input type="checkbox"/> 議員要望)
	<input type="checkbox"/> 改良	<input checked="" type="checkbox"/> その他 (
点検結果	点検年度	2019	年度	1	～	5
	健全性区分 (対象区間の最悪値)	Ⅲ-1		区間番号	1001	～
				Pom番号	H29-1-0034	
				詳細調査 の実績	<input type="checkbox"/> 開削調査	
					<input type="checkbox"/> FWD調査	
					<input type="checkbox"/> コア抜き調査	
					<input type="checkbox"/> その他 ()	

項目	入力方法
工事理由	<ul style="list-style-type: none"> ・工事理由を選択（その他の場合は具体的に記入） ・工事理由が「道路パトロール」や「自治会要望」などの場合で、POM システムに登録している場合、POM 番号を記入
点検結果	工事理由が「定期点検」または「特定点検」の場合は、最新の点検結果の情報を <input/> する
点検年度	点検年度（西暦）を半角数字で記入
健全性区分	「定期点検」または「特定点検」における健全性区分を記入
区間番号	工事理由が「定期点検」の場合、定期点検業務における区間番号を記入
詳細調査の実績	施工箇所で詳細調査が実施されている場合、調査の種類を選択（その他の場合は具体的に記入）

※「Pom 番号」及び「点検結果」は、浜松市職員に確認の上、記入してください。

STEP3：位置情報を入力する



項目	入力方法
箇所図	浜松市ホームページに公開している「浜松市道路台帳図」の地図の画像を貼り付け、 A：工事開始点（起点側）、B：工事終了点（終点側）と工事区間を示す矢印 を描画する
位置図	位置図上の施工箇所に○を描画する (路線情報で区名を記入すると、位置図が自動的に切り替わります。)

※「浜松市道路台帳図」からの「箇所図」の取得方法は、付録-2を参照。

STEP4：施工情報を入力する（1/2）

施工情報																											
完成年月日	2020年8月20日		契約番号	20201234																							
工事名	平成●年度道路維持修繕国交付金事業（防災・安全交）国道152号外舗装修繕工事																										
施工範囲・工法・舗装構成等																											
施工延長	100	m	代表幅員	車道	23.5	m	全幅	36	m	面積	500	m ²															
設計CBR	3	%	舗装計画交通量	N6																							
施工工法	8																										
施工前			施工後																								
層区分	厚さ (cm)	材料	層区分	厚さ (cm)	材料																						
主層	5	;	主層	5	;																						
			<table border="1"> <tr> <td rowspan="2">A 工事開始点 (起点側)</td> <td>緯度</td> <td>34 °</td> <td>42 '</td> <td>40.49 "</td> </tr> <tr> <td>経度</td> <td>137 °</td> <td>43 '</td> <td>39.28 "</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">B 工事終了点 (終点側)</td> <td>緯度</td> <td>34 °</td> <td>42 '</td> <td>37.60 "</td> </tr> <tr> <td>経度</td> <td>137 °</td> <td>43 '</td> <td>38.92 "</td> </tr> </table>							A 工事開始点 (起点側)	緯度	34 °	42 '	40.49 "	経度	137 °	43 '	39.28 "	B 工事終了点 (終点側)	緯度	34 °	42 '	37.60 "	経度	137 °	43 '	38.92 "
A 工事開始点 (起点側)	緯度	34 °	42 '	40.49 "																							
	経度	137 °	43 '	39.28 "																							
B 工事終了点 (終点側)	緯度	34 °	42 '	37.60 "																							
	経度	137 °	43 '	38.92 "																							
			工法番号			材料記号																					

項目	入力方法
完成年月日	検査日を半角数字で記入（自動的に年月日表示に切り替わります。） 【正】2018/10/10 【誤】2018.10.10、H30.10.10
契約番号	契約番号を半角数字で記入
工事名	工事名を記入（途中で改行（Alt+Enter）しないでください。）
車線パターン	様式に付属しているシート「車線パターン早見表」で工事対象箇所の車線パターンを確認し、プルダウンメニューから選択（車線パターンがその他の場合は、シート「車線パターンその他」で車線パターンを設定）
緯度・経度	浜松市ホームページに公開している「浜松市道路台帳図」から取得し、半角数字で記入
施工延長	半角数字で記入
代表幅員	半角数字で「車道幅員」「全幅員」「施工幅員」を記入
面積	半角数字で記入
設計 CBR	半角数字で記入
舗装計画交通量	半角数字で記入

※「浜松市道路台帳図」からの緯度・経度の取得方法は、付録-3を参照。

※「設計 CBR」は、浜松市職員に確認の上、記入してください。

STEP5： 施工情報を入力する（2/2）

施工工法	8			側		車線なし		側																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">施工前</th> <th colspan="2">施工後</th> </tr> <tr> <th>層区分</th> <th>厚さ (cm)</th> <th>層区分</th> <th>厚さ (cm)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>表層</td> <td>5</td> <td>表層</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>第二層</td> <td>8</td> <td>第二層</td> <td>8</td> </tr> <tr> <td>第三層</td> <td></td> <td>第三層</td> <td></td> </tr> <tr> <td>第四層</td> <td></td> <td>第四層</td> <td></td> </tr> <tr> <td>第五層</td> <td></td> <td>第五層</td> <td></td> </tr> <tr> <td>第六層</td> <td></td> <td>第六層</td> <td></td> </tr> <tr> <td>第七層</td> <td></td> <td>第七層</td> <td></td> </tr> <tr> <td>厚さ計</td> <td>13</td> <td>厚さ計</td> <td>13</td> </tr> <tr> <td>TA</td> <td></td> <td>TA</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>				施工前		施工後		層区分	厚さ (cm)	層区分	厚さ (cm)	表層	5	表層	5	第二層	8	第二層	8	第三層		第三層		第四層		第四層		第五層		第五層		第六層		第六層		第七層		第七層		厚さ計	13	厚さ計	13	TA		TA		<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">A工事開始点 (起点側)</th> <th>緯度</th> <th>34</th> <th>°</th> <th>42</th> <th>'</th> <th>40.49</th> <th>″</th> </tr> <tr> <th colspan="2">B工事終了点 (終点側)</th> <th>緯度</th> <th>34</th> <th>°</th> <th>42</th> <th>'</th> <th>37.60</th> <th>″</th> </tr> <tr> <th colspan="2"></th> <th>経度</th> <th>137</th> <th>°</th> <th>43</th> <th>'</th> <th>38.92</th> <th>″</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th colspan="2">工法番号</th> <th colspan="7">材料記号</th> </tr> <tr> <td>1</td> <td>表面処理工法</td> <td>a</td> <td colspan="6">密粒度As (13) B改質 I 型</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>薄層オーバーレイ工法</td> <td>b</td> <td colspan="6">密粒度As (13) B改質 II 型</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>オーバーレイ工法</td> <td>c</td> <td colspan="6">密粒度As (20) B改質 I 型</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>切削薄層オーバーレイ工法</td> <td>d</td> <td colspan="6">密粒度As (20) B改質 II 型</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>切削オーバーレイ工法 (表層のみ)</td> <td>e</td> <td colspan="6">粗粒度As (20) B改質 I 型</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>切削オーバーレイ工法 (表層・基層)</td> <td>f</td> <td colspan="6">粗粒度As (20) B改質 II 型</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>表層打換え工法</td> <td>g</td> <td colspan="6">再生密粒度As (13) A</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>表層・基層打換え工法</td> <td>h</td> <td colspan="6">再生密粒度As (13) Aスラグ入</td> </tr> <tr> <td>9</td> <td>表層・基層・中間層打換え工法</td> <td>i</td> <td colspan="6">再生密粒度As (13) B</td> </tr> <tr> <td>10</td> <td>上層路盤打換え工法 (GRP工法含む)</td> <td>j</td> <td colspan="6">再生密粒度As (20) A</td> </tr> <tr> <td>11</td> <td>下層路盤打換え工法</td> <td>k</td> <td colspan="6">再生密粒度As (20) Aスラグ入</td> </tr> <tr> <td>12</td> <td>路上再生路盤工法 (セメント・遊青)</td> <td>l</td> <td colspan="6">再生粗粒度As (20) A</td> </tr> <tr> <td>13</td> <td>路上再生路盤工法 (セメント)</td> <td>m</td> <td colspan="6">再生粗粒度As (20) Aスラグ入</td> </tr> <tr> <td>14</td> <td>ひび割れ注入</td> <td>n</td> <td colspan="6">再生粗粒度As (20) B</td> </tr> <tr> <td>15</td> <td>パッチング</td> <td>o</td> <td colspan="6">密粒度ギャップAs (13)</td> </tr> <tr> <td>16</td> <td>切削</td> <td>p</td> <td colspan="6">ポーラスAs (13)</td> </tr> <tr> <td>17</td> <td>レベリング</td> <td>q</td> <td colspan="6">再生大粒径As (30)</td> </tr> <tr> <td>18</td> <td>リフレクションクラック対策</td> <td>r</td> <td colspan="6">瀝青安定処理</td> </tr> <tr> <td>19</td> <td>じょく層</td> <td>s</td> <td colspan="6">粒度調整砕石</td> </tr> <tr> <td>20</td> <td>舗装新設</td> <td>t</td> <td colspan="6">再生下層路盤材</td> </tr> <tr> <td>21</td> <td>他1 ()</td> <td>u</td> <td colspan="6">既設粗粒度As</td> </tr> <tr> <td>22</td> <td>他2 ()</td> <td>v</td> <td colspan="6">既設瀝青安定処理</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>w</td> <td colspan="6">既設粒状路盤材</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>x</td> <td colspan="6">他1 ()</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>y</td> <td colspan="6">他2 ()</td> </tr> </tbody> </table>						A工事開始点 (起点側)		緯度	34	°	42	'	40.49	″	B工事終了点 (終点側)		緯度	34	°	42	'	37.60	″			経度	137	°	43	'	38.92	″	工法番号		材料記号							1	表面処理工法	a	密粒度As (13) B改質 I 型						2	薄層オーバーレイ工法	b	密粒度As (13) B改質 II 型						3	オーバーレイ工法	c	密粒度As (20) B改質 I 型						4	切削薄層オーバーレイ工法	d	密粒度As (20) B改質 II 型						5	切削オーバーレイ工法 (表層のみ)	e	粗粒度As (20) B改質 I 型						6	切削オーバーレイ工法 (表層・基層)	f	粗粒度As (20) B改質 II 型						7	表層打換え工法	g	再生密粒度As (13) A						8	表層・基層打換え工法	h	再生密粒度As (13) Aスラグ入						9	表層・基層・中間層打換え工法	i	再生密粒度As (13) B						10	上層路盤打換え工法 (GRP工法含む)	j	再生密粒度As (20) A						11	下層路盤打換え工法	k	再生密粒度As (20) Aスラグ入						12	路上再生路盤工法 (セメント・遊青)	l	再生粗粒度As (20) A						13	路上再生路盤工法 (セメント)	m	再生粗粒度As (20) Aスラグ入						14	ひび割れ注入	n	再生粗粒度As (20) B						15	パッチング	o	密粒度ギャップAs (13)						16	切削	p	ポーラスAs (13)						17	レベリング	q	再生大粒径As (30)						18	リフレクションクラック対策	r	瀝青安定処理						19	じょく層	s	粒度調整砕石						20	舗装新設	t	再生下層路盤材						21	他1 ()	u	既設粗粒度As						22	他2 ()	v	既設瀝青安定処理								w	既設粒状路盤材								x	他1 ()								y	他2 ()					
施工前		施工後																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
層区分	厚さ (cm)	層区分	厚さ (cm)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
表層	5	表層	5																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
第二層	8	第二層	8																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
第三層		第三層																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
第四層		第四層																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
第五層		第五層																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
第六層		第六層																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
第七層		第七層																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
厚さ計	13	厚さ計	13																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
TA		TA																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
A工事開始点 (起点側)		緯度	34	°	42	'	40.49	″																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
B工事終了点 (終点側)		緯度	34	°	42	'	37.60	″																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
		経度	137	°	43	'	38.92	″																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
工法番号		材料記号																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
1	表面処理工法	a	密粒度As (13) B改質 I 型																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
2	薄層オーバーレイ工法	b	密粒度As (13) B改質 II 型																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
3	オーバーレイ工法	c	密粒度As (20) B改質 I 型																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
4	切削薄層オーバーレイ工法	d	密粒度As (20) B改質 II 型																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
5	切削オーバーレイ工法 (表層のみ)	e	粗粒度As (20) B改質 I 型																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
6	切削オーバーレイ工法 (表層・基層)	f	粗粒度As (20) B改質 II 型																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
7	表層打換え工法	g	再生密粒度As (13) A																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
8	表層・基層打換え工法	h	再生密粒度As (13) Aスラグ入																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
9	表層・基層・中間層打換え工法	i	再生密粒度As (13) B																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
10	上層路盤打換え工法 (GRP工法含む)	j	再生密粒度As (20) A																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
11	下層路盤打換え工法	k	再生密粒度As (20) Aスラグ入																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
12	路上再生路盤工法 (セメント・遊青)	l	再生粗粒度As (20) A																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
13	路上再生路盤工法 (セメント)	m	再生粗粒度As (20) Aスラグ入																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
14	ひび割れ注入	n	再生粗粒度As (20) B																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
15	パッチング	o	密粒度ギャップAs (13)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
16	切削	p	ポーラスAs (13)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
17	レベリング	q	再生大粒径As (30)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
18	リフレクションクラック対策	r	瀝青安定処理																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
19	じょく層	s	粒度調整砕石																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
20	舗装新設	t	再生下層路盤材																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
21	他1 ()	u	既設粗粒度As																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
22	他2 ()	v	既設瀝青安定処理																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
		w	既設粒状路盤材																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
		x	他1 ()																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
		y	他2 ()																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
施工年度 (前回) 2000 年度				施工年度 (今回) 2020 年度																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
備考																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										

※本様式の作成にあたっては、「浜松市舗装施工記録様式 作成マニュアル【施工業者用】」を参照してください。
 ※本様式を作成後、様式のExcelファイルを監督員に提出し、内容が正確に入力されているか確認を受けてください。

項目	入力方法
施工工法	施工工法を右表の「工法番号」から選び、プルダウンメニューから選択（その他の場合は具体的に記入）
舗装構成 (施工前) (施工後)	<ul style="list-style-type: none"> 各層の厚さ (cm) を半角数字で記入 各層の材料を右表の「材料記号」から選び、プルダウンメニューから選択（その他の場合は具体的に記入。不明の場合は「不明」を選択。） CBR 試験等により、施工していない層区分（既設の舗装構成）が分かる場合は、施工前・施工後の両方にその厚さ・材料も記入
施工年度 (前回) (今回)	施工年度 (西暦) を半角数字で記入
備考	維持管理上考慮すべき施工情報があれば備考欄に記入

STEP6： 「3.4 様式のファイル名の決定 (命名規則)」 のとおりファイル名を付ける

3.2. 様式のファイル名の決定（命名規則）

ここでは、様式の命名規則を説明します。

ファイル名は、以下のように①～⑧の項目を組み合わせて決定します。

様式略名	-	区名	-	道路種別	路線名	-	町字名	-	日付	-	連番
①	②	③	②	④	⑤	②	⑥	②	⑦	②	⑧

施工記録様式（浜松市発注用）のファイル名の例

舗装施工	-	北区	-	一般県道	細江浜北線	-	根洗町	-	20181010	-	1
様式略名	-	区名	-	道路種別	路線名	-	町字名	-	日付	-	連番

項目	入力方法
① 様式略名	保存する様式に応じた様式略名を記入 施工記録様式（浜松市発注用） ⇒ 舗装施工
② 半角アンダーバー	半角のアンダーバーを1つ記入
③ 区名	区名を記入
④ 道路種別	道路種別を記入（道路種別の後にアンダーバーを入力しないでください。） 【正】国道、主要地方道、一般県道、市道 【誤】（国）、R、県道、市道1級
⑤ 路線名	路線名を記入（路線名の前にアンダーバーを入力しないでください。） 【正】152号、浜松環状線、 【誤】152、65号線
⑥ 町字名	町字名を記入 【正】水窪町長尾 【誤】水窪町
⑦ 日付	様式に記載した「完成年月日」を、例を参考に記入
⑧ 連番	①～⑦の項目名が全く同じファイルが複数ある場合のみ、半角アンダーバーと連番を記入

4. 様式の提出

作成後、様式の [Excelファイル](#) を監督員に提出してください。

付録

付録-1 道路の分類の確認方法

施工箇所が該当する「道路の分類」を確認したい場合は、監督員にお問い合わせください。

様式と同じページに表示されている「浜松市舗装維持管理ガイドライン（別冊）」でも、「道路の分類」を確認することができます。

付録-2 箇所図の取得方法（施工業者向け）

ここでは、浜松市地図情報サイトにおける箇所図の取得方法を説明します。

- ① 浜松市地図情報サイト (<https://www2.wagmap.jp/hamamatsu/Portal>) にアクセスし、「道路台帳図」をクリックしてください。（検索エンジンで「浜松市 道路台帳図」などのキーワードで検索し、アクセスすることもできます。）



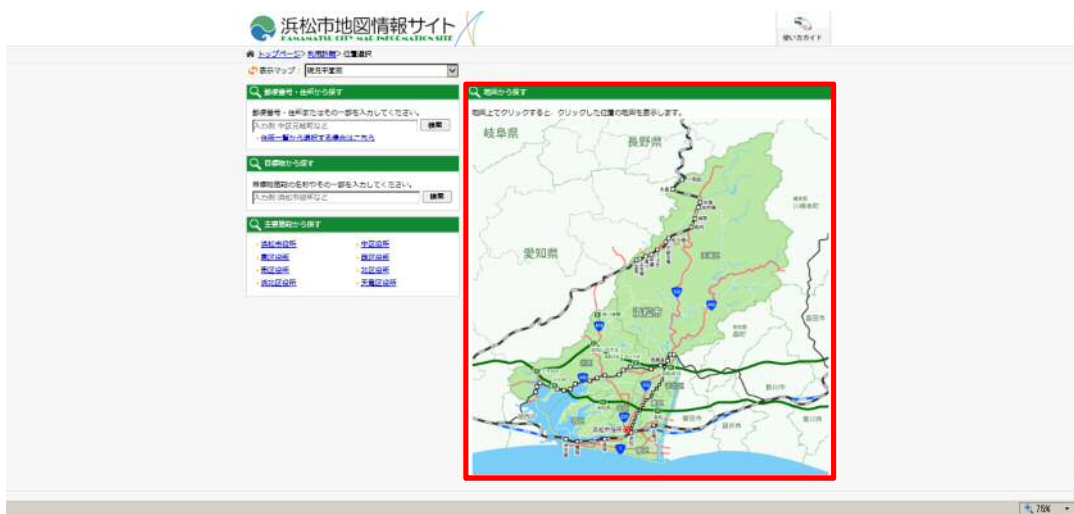
- ② マップ選択で「現況平面図」をクリックしてください。




- ③ 次のページの最下部で「同意する」をクリックしてください。

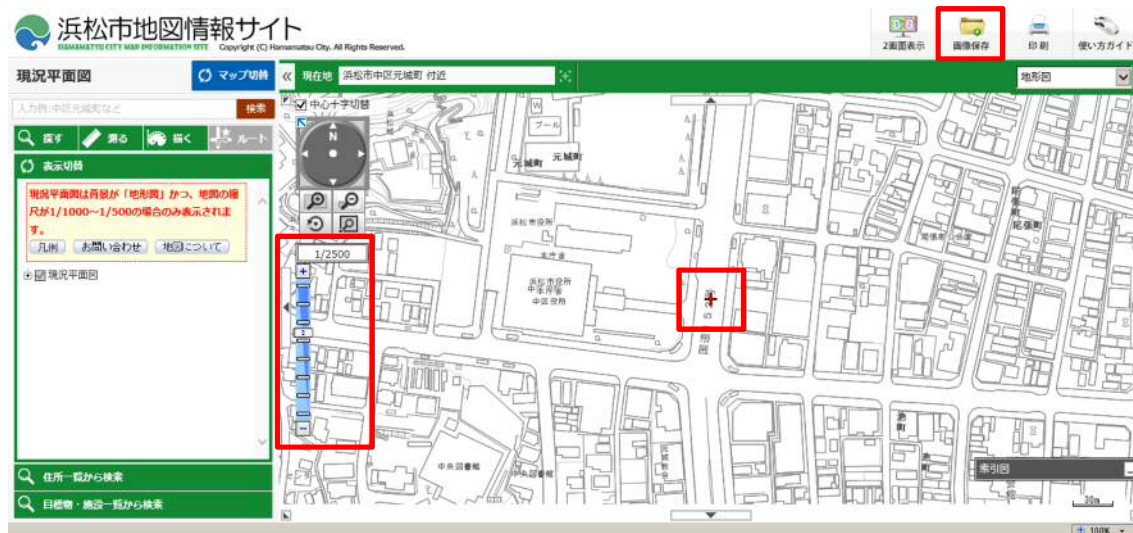


- ④ 地図をクリックすると別のウィンドウが開き、クリックした付近の地図が拡大して表示されます。(住所や主要施設などをクリックすることで、その付近の地図を拡大表示することもできます。)



- ⑤ 表示された地図をドラッグするなどして、箇所図を取得したい箇所を地図上に表示させてください。
- ⑥ 表示された地図から正確な箇所図を取得できるように、スケールバーを「2500m」以下に設定し、箇所図

を取得したい箇所の中心にカーソルを表示させてください。その後、右上の  ボタンをクリックしてください。



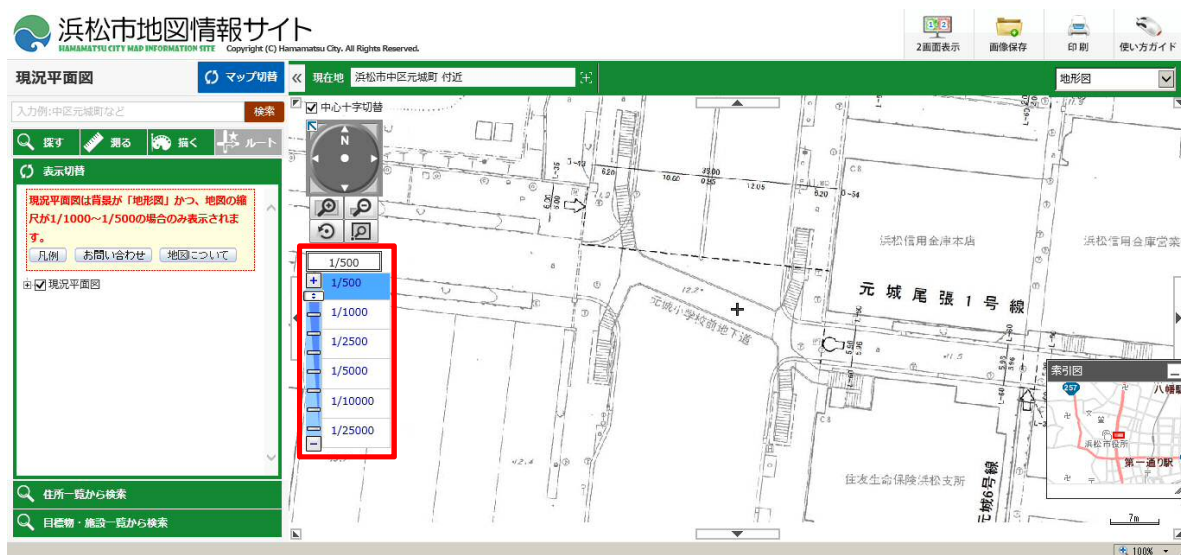
- ⑦ 「画像保存」ウィンドウが表示され、ウィンドウ内に表示された地図を画像で保存できます。施工範囲の全体が収まる箇所図となるよう、縮尺や地図の範囲を調整した後、**表示画像をファイル保存** ボタンをクリックし、画像を保存することで箇所図を取得できます。



付録-3 緯度・経度等の取得方法

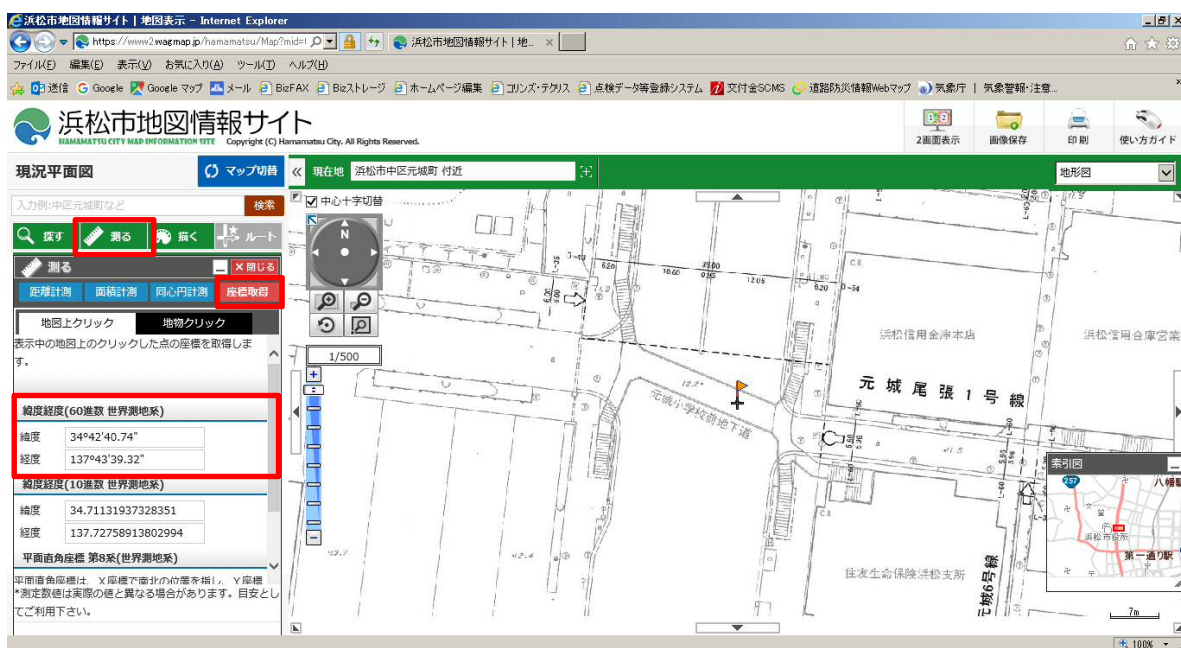
ここでは、浜松市地図情報サイトにおける緯度・経度の取得方法を説明します。

- ① はじめに、「付録-2 箇所図の取得方法」の①～④までの操作を行ってください。
- ② 表示された地図をドラッグするなどして、緯度・経度を取得したい箇所を地図上に表示させてください。
- ③ 表示された地図から正確な緯度・経度を取得できるよう、スケールバーを「500m」に設定してください。



- ④ 左上の **測る** ボタンをクリックした後、**座標取得** ボタンをクリックしてください。

- ⑤ 地図上の緯度・経度を取得したい箇所をクリックすると、左側に緯度・経度が表示されます。



付録-4 様式サンプル

① 施工記録様式（浜松市発注用）

様式-5（施工記録様式A） Ver.1.4																																																															
舗装カード（浜松市発注用）						発注所属部課名		土木部		道路保全課																																																					
路線情報																																																															
道路の分類		B		道路種別		国道		路線名		152号																																																					
区名		中区		町字名		板屋町		全車線数		7																																																					
地下埋設物		<input checked="" type="checkbox"/> 電気		<input type="checkbox"/> ガス		<input type="checkbox"/> 上水道		<input type="checkbox"/> 下水道		<input type="checkbox"/> NTT <input type="checkbox"/> 工業用水 <input type="checkbox"/> その他（ ）																																																					
工事理由・点検結果情報																																																															
工事理由		<input checked="" type="checkbox"/> 定期点検 <input type="checkbox"/> 特定点検（ <input type="checkbox"/> 道路パトロール <input type="checkbox"/> 住民通報 <input type="checkbox"/> 自治会要望 <input type="checkbox"/> 議員要望 ） <input type="checkbox"/> 改良 <input checked="" type="checkbox"/> その他（ ）						Pom番号		H29-1-0034																																																					
点検結果	点検年度		2019		年度		1		～		5																																																				
	健全性区分 (対象区間の最悪値)		Ⅲ-1		区間番号		1001		～		1005																																																				
											<input type="checkbox"/> 開削調査 <input type="checkbox"/> FWD調査 <input type="checkbox"/> コア抜き調査 <input type="checkbox"/> その他（ ）																																																				
位置情報						位置図																																																									
施工情報																																																															
完成年月日		2020年8月20日		契約番号		20201234		車線パターン		対象																																																					
工事名		平成●年度道路維持修繕国交付金事業（防災・安全交）国道152号外舗装修繕工事						その他		凡例		対象外																																																			
施工範囲・工法・舗装構成等																																																															
施工延長		100 m		代表幅員		車道 23.5 m 全幅 36 m 施工 5.5 m		面積		500 m ²																																																					
設計CBR		3 %		舗装計画交通量		N6		工事対象車線		B 工事終了点側																																																					
施工工法		8																																																													
施工前				施工後				<table border="1"> <tr> <th>緯度</th> <td>34 ° 42 ' 40.49 "</td> </tr> <tr> <th>経度</th> <td>137 ° 43 ' 39.28 "</td> </tr> <tr> <th>緯度</th> <td>34 ° 42 ' 37.60 "</td> </tr> <tr> <th>経度</th> <td>137 ° 43 ' 38.92 "</td> </tr> </table>				緯度	34 ° 42 ' 40.49 "	経度	137 ° 43 ' 39.28 "	緯度	34 ° 42 ' 37.60 "	経度	137 ° 43 ' 38.92 "																																												
緯度	34 ° 42 ' 40.49 "																																																														
経度	137 ° 43 ' 39.28 "																																																														
緯度	34 ° 42 ' 37.60 "																																																														
経度	137 ° 43 ' 38.92 "																																																														
層区分		厚さ (cm)		材料		層区分		厚さ (cm)		材料																																																					
表層		5		j		表層		5		j																																																					
第二層		8		a		第二層		8		a																																																					
第三層						第三層																																																									
第四層						第四層																																																									
第五層						第五層																																																									
第六層						第六層																																																									
第七層						第七層																																																									
厚さ計		13				厚さ計		13																																																							
TA						TA																																																									
施工年度（前回）		2000		年度		施工年度（今回）		2020		年度																																																					
備考																																																															
<table border="1"> <tr> <th>工法番号</th> <th>材料記号</th> </tr> <tr> <td>1 表面処理工法</td> <td>a 密粒度As (13) B改質I型</td> </tr> <tr> <td>2 薄層オーバーレイ工法</td> <td>b 密粒度As (13) B改質II型</td> </tr> <tr> <td>3 オーバーレイ工法</td> <td>c 密粒度As (20) B改質I型</td> </tr> <tr> <td>4 切削薄層オーバーレイ工法</td> <td>d 密粒度As (20) B改質II型</td> </tr> <tr> <td>5 切削オーバーレイ工法（表層のみ）</td> <td>e 粗粒度As (20) B改質I型</td> </tr> <tr> <td>6 切削オーバーレイ工法（表層・基層）</td> <td>f 粗粒度As (20) B改質II型</td> </tr> <tr> <td>7 表層打換え工法</td> <td>g 再生密粒度As (13) A</td> </tr> <tr> <td>8 表層・基層打換え工法</td> <td>h 再生密粒度As (13) Aスラグ入</td> </tr> <tr> <td>9 表層・基層・中間層打換え工法</td> <td>i 再生密粒度As (13) B</td> </tr> <tr> <td>10 上層路盤打換え工法（GPP工法含む）</td> <td>j 再生密粒度As (20) A</td> </tr> <tr> <td>11 下層路盤打換え工法</td> <td>k 再生密粒度As (20) Aスラグ入</td> </tr> <tr> <td>12 路上再生路盤工法（セメント・速乾）</td> <td>l 再生粗粒度As (20) A</td> </tr> <tr> <td>13 路上再生路盤工法（セメント）</td> <td>m 再生粗粒度As (20) Aスラグ入</td> </tr> <tr> <td>14 ひび割れ注入</td> <td>n 再生粗粒度As (20) B</td> </tr> <tr> <td>15 パッチング</td> <td>o 密粒度ギャップAs (13)</td> </tr> <tr> <td>16 切削</td> <td>p ポーラスAs (13)</td> </tr> <tr> <td>17 レベリング</td> <td>q 再生大粒径As (30)</td> </tr> <tr> <td>18 リフレクションクラック対策</td> <td>r 瀝青安定処理</td> </tr> <tr> <td>19 じょく層</td> <td>s 粒度調整碎石</td> </tr> <tr> <td>20 舗装新設</td> <td>t 再生下層路盤材</td> </tr> <tr> <td>21 他1（ ）</td> <td>u 既設粗粒度As</td> </tr> <tr> <td>22 他2（ ）</td> <td>v 既設瀝青安定処理</td> </tr> <tr> <td></td> <td>w 既設粒状路盤材</td> </tr> <tr> <td></td> <td>x 他1（ ）</td> </tr> <tr> <td></td> <td>y 他2（ ）</td> </tr> </table>												工法番号	材料記号	1 表面処理工法	a 密粒度As (13) B改質I型	2 薄層オーバーレイ工法	b 密粒度As (13) B改質II型	3 オーバーレイ工法	c 密粒度As (20) B改質I型	4 切削薄層オーバーレイ工法	d 密粒度As (20) B改質II型	5 切削オーバーレイ工法（表層のみ）	e 粗粒度As (20) B改質I型	6 切削オーバーレイ工法（表層・基層）	f 粗粒度As (20) B改質II型	7 表層打換え工法	g 再生密粒度As (13) A	8 表層・基層打換え工法	h 再生密粒度As (13) Aスラグ入	9 表層・基層・中間層打換え工法	i 再生密粒度As (13) B	10 上層路盤打換え工法（GPP工法含む）	j 再生密粒度As (20) A	11 下層路盤打換え工法	k 再生密粒度As (20) Aスラグ入	12 路上再生路盤工法（セメント・速乾）	l 再生粗粒度As (20) A	13 路上再生路盤工法（セメント）	m 再生粗粒度As (20) Aスラグ入	14 ひび割れ注入	n 再生粗粒度As (20) B	15 パッチング	o 密粒度ギャップAs (13)	16 切削	p ポーラスAs (13)	17 レベリング	q 再生大粒径As (30)	18 リフレクションクラック対策	r 瀝青安定処理	19 じょく層	s 粒度調整碎石	20 舗装新設	t 再生下層路盤材	21 他1（ ）	u 既設粗粒度As	22 他2（ ）	v 既設瀝青安定処理		w 既設粒状路盤材		x 他1（ ）		y 他2（ ）
工法番号	材料記号																																																														
1 表面処理工法	a 密粒度As (13) B改質I型																																																														
2 薄層オーバーレイ工法	b 密粒度As (13) B改質II型																																																														
3 オーバーレイ工法	c 密粒度As (20) B改質I型																																																														
4 切削薄層オーバーレイ工法	d 密粒度As (20) B改質II型																																																														
5 切削オーバーレイ工法（表層のみ）	e 粗粒度As (20) B改質I型																																																														
6 切削オーバーレイ工法（表層・基層）	f 粗粒度As (20) B改質II型																																																														
7 表層打換え工法	g 再生密粒度As (13) A																																																														
8 表層・基層打換え工法	h 再生密粒度As (13) Aスラグ入																																																														
9 表層・基層・中間層打換え工法	i 再生密粒度As (13) B																																																														
10 上層路盤打換え工法（GPP工法含む）	j 再生密粒度As (20) A																																																														
11 下層路盤打換え工法	k 再生密粒度As (20) Aスラグ入																																																														
12 路上再生路盤工法（セメント・速乾）	l 再生粗粒度As (20) A																																																														
13 路上再生路盤工法（セメント）	m 再生粗粒度As (20) Aスラグ入																																																														
14 ひび割れ注入	n 再生粗粒度As (20) B																																																														
15 パッチング	o 密粒度ギャップAs (13)																																																														
16 切削	p ポーラスAs (13)																																																														
17 レベリング	q 再生大粒径As (30)																																																														
18 リフレクションクラック対策	r 瀝青安定処理																																																														
19 じょく層	s 粒度調整碎石																																																														
20 舗装新設	t 再生下層路盤材																																																														
21 他1（ ）	u 既設粗粒度As																																																														
22 他2（ ）	v 既設瀝青安定処理																																																														
	w 既設粒状路盤材																																																														
	x 他1（ ）																																																														
	y 他2（ ）																																																														

※本様式の作成にあたっては、「浜松市舗装施工記録様式 作成マニュアル【施工業者用】」を参照してください。
 ※本様式を作成後、様式のExcelファイルを監督員に提出し、内容が正確に入力されているか確認を受けてください。

② 車線パターン早見表

車線パターン早見表

全車線数 1

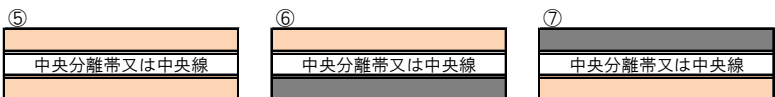


全車線数 2

中央分離帯又は中央線がない場合



中央分離帯又は中央線がある場合

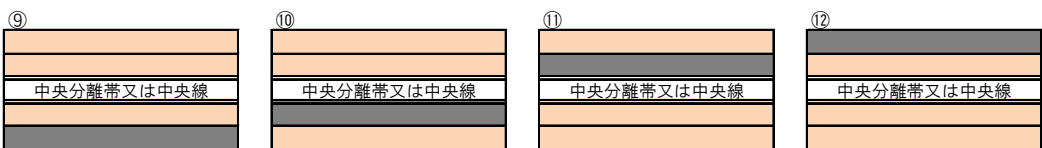


全車線数 4

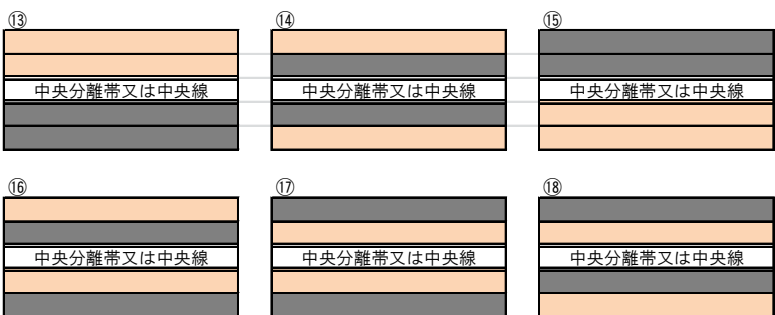
判定対象車線数 4



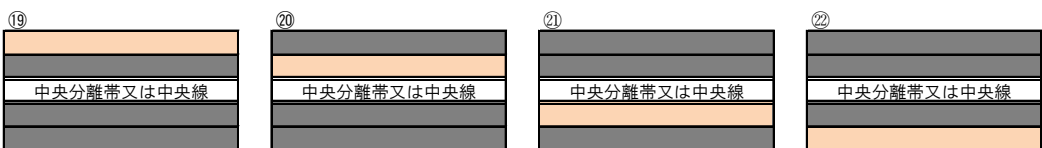
判定対象車線数 3



判定対象車線数 2



判定対象車線数 1



その他

上記以外の車線パターンの場合は、「その他」を選択し、「シート」車線パターンその他”において、対象車線を選択してください。

浜松市舗装施工記録様式 作成マニュアル 【施工業者用】 改定等の履歴

1. 平成 31 年 4 月 作成・保存マニュアル Ver. 1.0 策定
